

題材を貫く問い 日本の民謡の音楽の特徴を感じ取って、その魅力について味わい自分なりに表現する

この題材と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)  
【第5学年及び第6学年】  
・和楽器の音楽を含めた我が国の音楽や諸外国の音楽など文化との関わりをとらえやすい音楽、人々に長く親しまれている音楽などいろいろな種類の音楽を聴く。  
◆音楽を形作っている要素に着目し、それぞれの特徴について知覚し自分なりに感受する力。

本題材の目標

音楽を自分なりに評価しながら、その良さや美しさを味わって聴き、他者に言葉で説明したり、他者と共に批評したりする活動を通して、生活や社会における音楽の意味や役割についてどのような価値を持ち、どのような役割を果たしてきたか音楽の成立した背景や演奏されたり聴かれたりしていた状況について想像することを通して、現代の人がこれらの音楽をどのように受け入れているかについて考える。

学びに向かう力、人間性等

・生活や社会における音楽の意味や役割について根拠をもって自分なりに考え、評価しようとしている。また、音楽と人々の営みなどとの関わりに気づき、その音楽が、自分にとってどのような意味や役割を持つのかを考え自分なりの意見を持つようとしている

題材終了時のめざす生徒の姿

生活と音楽との関わりについて自分なりの意見を持ち、根拠をもって自分なりの意見を他者に言葉で説明することができる。

思考力・判断力・表現力等

・音楽が人々の暮らしの中で、また、集団の組織的な営みの中で、どのような価値を持ち、どのような役割を果たしてきたかということ自分なりの言葉で他者に伝えようとしている。

知識及び技能

・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解することができる。  
・文化や歴史を知るだけでなく、身近に伝わる伝統音楽に興味を持ち、我が国の伝統音楽を大切に継承する正しい知識を持っている。

この題材からつながっている領域の付けたい力と内容

【第2学年】  
◆自分の意見を根拠をもって批評する  
◆多種多様な音楽それぞれが持つ意味や、果たしている役割などについて生徒が考えることは、音楽を文化としてとらえ、音楽文化について考えることにつなげていく。  
【伝統文化に興味関心を持ち、日本伝統音楽に親しみを持つ】  
◆歌舞伎や長唄などの日本の音楽の良さや美しさについて、根拠をもって批評する。

生徒の実態と指導観

いろいろな音楽に興味があり、関心をもって音楽を聴くことができている。しかし、根拠をもって自分なりの言葉で表現することができない生徒もいる。他者の意見を聞きながら、自分の意見の近い要素などを集め、相手に伝わるように文章を作っていく。何度も伝えながら音楽を形作っている要素について深め、知覚感受が伝わるような文章を作っていくようにしていく。ペア学習や、グループワークを多くとりながら他者の意見を取り入れていけるようにする。また、音楽を聴く時間が少なくなることがないように時間設定を明確化をすることで、メリハリを付けて行動できるようにしていく。音楽の表現方法の幅を増やし、表現活動においての苦手意識がなくなるように支援していきたい。自分なりの表現を引き出すために、最初の印象や、他の音楽と聴き比べるなど多種多様な視点からの鑑賞ができるようにする。最初は短い文章になってしまうことが予想されるため、他者に伝わるようにと声掛けをするようにする。

鑑賞活動

自らの住む土地に根付いた民謡の特徴とその背景となる生活文化との関わりについて理解する 活動

民謡の作られた背景や、歴史や文化について理解し他者に自分なりに言葉で説明する 活動

民謡のよさや美しさなど魅力をどの部分から感じとり、知覚感受したことを表現し伝え合う 活動

【知識の習得を主とした学習活動】

第1時

・同じ「よさこい節」の伴奏やリズムの違いがある、音源を聴きそれぞれの特徴を書き出す。  
「音色」「旋律」に聴き取った内容をまとめていく。  
・それぞれの特徴を共有させ、同じ「よさこい節」なのに違いがあるのかについて問う。  
★土地の文化や環境などによって、民謡の違いがあることに気づく  
「よさこい節」の作られた背景や、なんのために作られたのかを理解する。

第2時

・作られた背景や文化によって曲調が変わってくる。→種類がある  
酒宴の場を盛り上げるために作られた、座興歌。仕事効率をあげるために作られた、仕事歌。踊るために作られた、踊り歌。  
祝い場で歌われた祝い歌。  
★それぞれの種類の民謡を聴き、どんな音楽の特徴があるか知る。  
→曲を聴かせて、種類を想像する 次時につなげる。

【思考判断表現の習得を主とした学習活動】

第3時

・興味を持った都道府県の民謡について紹介しよう。  
民謡の種類について作られた背景や、文化について調べ紹介文を作る。  
どのような思いや願いがこの民謡に込められているのかを考え、自分の意見と織り交ぜながら言葉で説明できるようになる。  
★民謡の成り立ちや、民謡とその時代の生活との関わりについて考えながら説明をする。また、他者に伝わるように自分なりの表現を加えながら、説明していく。

・お互いに調べ合った民謡を共有し合う。  
・他者の調べた民謡について聴いてみたり、その特徴について意見交換を行う。  
★民謡はさまざまな行事と密接な関係を持ち、その行事の効率やその行事を盛り上げるためなどさまざまな思いが込められていることについて知る。

他者の意見をきき、自分なりの意見を再対峙する。自分のものが根拠をもって音楽を感じられているか、自分自身でも確認を行えるようにしていく。

評価規準

【知】

音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりを理解することができる。  
県ごとに根付く、民謡の特徴を知り作られた背景や、文化によって歌それぞれに種類があることをについて理解できている。  
音楽の特徴を理解できるようにその音楽に特徴が、どのような背景から影響を受けているかについて聴く活動を通して歴史のみにとどまらないよう自分自身で捉えていくことができる。

【思】

生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽の音楽のよさや美しさを味わって聴くことができている。  
人々の暮らしの中で、また、集団の組織的な営みの中で、どのような価値を持ち、どのような役割を果たしてきたかについて考えを持っている。  
音楽が成立した背景や演奏されたり聴かれたりしていた状況などについて想像し、その場所に生きていた人々が音楽とどのように関わろうとしている。

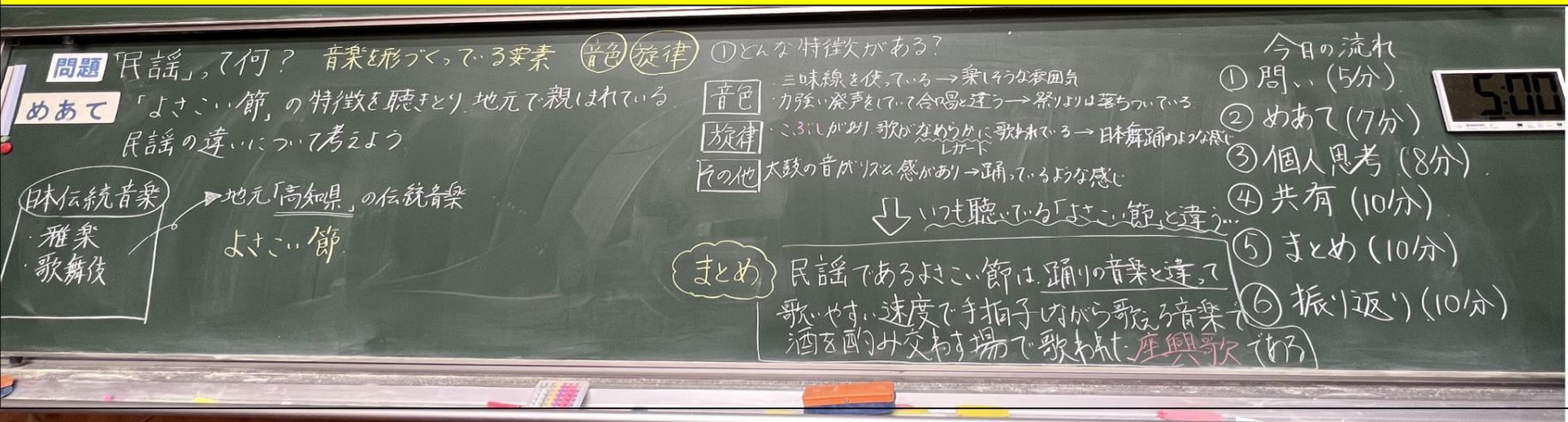
見方・考え方を働かせている生徒の姿

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形作っている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活社会、伝統や文化などと関連づけようとしている。

生活にあふれる音楽が人々にどんな価値や影響をもたらしていたかについて役割とともにおさえようとしている

【本時の目標】私たちの地域に根付く民謡について知ろう

【本時における見方・考え方】音楽から感じ取ったものを自分なりに言葉で表現している。他者の意見を自分の意見と比較しながら聞くことができる。



◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て  
 (「問題」・「めあて」の工夫、「まとめ」、発問、活動など)  
 本単元では、日本に古くから伝わる「民謡」の題材に、音楽を形作っている要素「音色」「旋律」に着目しながら鑑賞することで、どのような思いでこのような曲が作られ、どのように発展してきたのかを自分なりの言葉で表現する活動を行う。自らの住む高知県においても「よさこい節」があり、その他にもさまざまに受け継がれてきている。土地によっての特色を持ち、それぞれに人々の思いが込められている。長い間親しまれてきた「民謡」に興味・関心を持ち、それぞれが継承の担い手としての自覚を持てるように学習していく。



T 今回は、日本伝統音楽について学習していきたいと思います。  
 T 日本伝統音楽ときいて、どんなものが思いつくだろう。  
 S 歌舞伎、雅楽  
 T 歌舞伎や雅楽のよさや美しさについて考える学習では、より日本特有の音楽に親しみをもち、考えました。では、日本よりもっと範囲を狭めて、「高知県」の特有の音楽について知っていますか。  
 S 住んでいるのに、高知県の伝統音楽について知っていることが少ないなあ。  
 S 夏に踊ったりする時に使われる音楽って昔からあるのでは？  
 S 民謡？  
 T 「民謡」という言葉が出てきていましたが、民謡って？どのような音楽なんですか。自分たちの国で生まれた音楽をより知り、親しみをもって楽しんでいきましょう。

**問題：「民謡」って何？**  
 T では、高知の「民謡」って何がありますか？  
 S よさこい節

T そうですね。高知県の民謡である「よさこい節」はどのように作られどのように成立していったのでしょうか。

S 地元で生活しているが、知らないなあ。  
 T では他の県でも「よさこい節」が根付いているのかな？  
 S いや、徳島県では阿波踊りがあるからそれが民謡では・・・？  
 T 民謡はどんな意図をもって作られ、そして今まで継承されてきたのか実際に考えてみましょう。

めあて：よさこい節の特徴を聴きとり、地元で親しまれる民謡の違いについて考えよう。

T 今から「よさこい節」を聴いてもらいます。「旋律」、「音色」の特徴を聴き取ってみましょう。タブレットに書き込みながら、聴いてみましょう。音楽を形作っている要素他の要素に気づいた人は他の要素からでも構いません。書き込んでみましょう。

(5分 個人思考)

(共有)  
 T どんな特徴がありましたか。  
 S 太鼓の音がリズム感を感じさせて、踊っているような感じがする。

S 歌っているひとが、自分が知っている合唱などと違う形で歌っている。なんか和調な感じがする。こぶしがついている。

S 三味線が使われている。お祭りの感じがだともっと盛り上がる感じがあるはずなのになあ。

T みんなが知っているのはこれのことかな。よさこい節（お祭りバージョンを聴く）  
 T なんてこんな違いがあるのだろう？  
 S 使われ方の違い？

T 用途が違うということですか？  
 S 多分、最初に聞いたのは楽しげであるが、三味線の音があり、お祭りの場とは違う気がする。音が少ない。

T それぞれの特徴が違うと用途が違うと言ってくれましたが、その通りで「民謡」は作られた際に用途によって種類があります。ではよさこい節は何のために作られたのでしょうか。

T それぞれの特徴が違うと用途が違うと言ってくれましたが、その通りで「民謡」は作られた際に用途によって種類があります。ではよさこい節は何のために作られたのでしょうか。

S お祭りのため

T とおもいますが、今の用途は後でお祭りのために曲調が変えられました。  
 S じゃあはじめは違う用途だったのかな？曲調的に楽しそうだなあ。  
 高知ならではの楽しそうな場面って・・・

S 実は、酒を酌み交わす場で歌われたのが最初です。そのため、この曲は「座興歌」に分類されます。

民謡であるよさこい節は、座興歌だから、踊りの音楽とは違って、歌いやすい速度の音楽で、手拍子しながら歌うことのできる楽しくなる音楽だった。三味線の音や太鼓の音によって歌が盛り上がっていく感じがした。

S他にどんな種類の民謡があるのかな？  
 T ソーラン節  
 仕事の効率をあげるために作られた「仕事唄」、踊るための「踊り唄」、祝い場で歌った「祝い唄」など、それぞれの用途や土地の仕事効率をあげるために作られたことから、民謡には種類があります。

T 次回は、いろいろな種類の民謡を聴いてみましょう。  
 では、今日の振り返りをしてみましょう。  
 S 振り返り 記入 → 共有

<指導上の留意点>  
 ・生徒とのやり取りの中で、めあての設定を出させるようにする。

<指導上の留意点>  
 ・知覚、感受を行う際、自分なりの言葉で描けない時に、近い言葉を抜き出せるお助けシートを資料として提示する。

・音楽の特徴を理解できるようにその音楽に特徴が、どのような背景から影響を受けているかについて聴く活動を通して歴史のみにとどまらないよう自分自身で捉えていくことができる。

評価規準

